ニッポン美人化計画

Text: Ryoko Kobayashi

MAKE-UP: UDA

MISSION
93
2017.9

PHOTO: Katsuhide Morimoto (little friends)
STYLING: Dai Ishii
HAIR: KANADA (LAKE TAJO)

内なる好みから導き出された“太陽の色”を色っぽくプラス。色と形、微妙なバランス調整で、彼女の新しい1ページが開きました。

ラガーシャツ ¥12,800(カンタベリー | カンタベリーオブニュージーランドジャパン)/ネックレス、鼻ピアス＊モデル私物

今月のミューズが生まれるまで

杏さん
フリーランス
2017. 7. 5 at Omotesando
Photo: UDA

ボンバーヘアに、ノーメイクの白い素肌が印象的な杏さん。

「昔の不良のムードを感じる個性的な髪形。そんな昭和のディテールを、スッとした顔立ちやシンプルな服を選ぶファッションセンスの絶妙なバランスでフレッシュに。今の僕の目にも、とびきり新しく映りました」(UDAさん)

そんな先端をゆく彼女への提案は？

「ヒッピー&古着好きという本人の好みから、スタッフとの打ち合わせで出てきた“太陽”というキーワードが手がかりに。そこでまずオレンジを使うことを決めました」(UDAさん)

そのオレンジも、当初は上瞼中央にグラフィカルに入れていたが、

「撮影が進むにつれて肩の力が抜け、ちらっと覗かせた女っぽい表情に合わせて、流線型に変更。ヘルシーにしたいけど色気も感じさせたい。そういうときは、色味や形の調整が、新しい発見につながります」(UDAさん)

素肌を保湿スキンケア。ベースメイクはせずにそのままオレンジ(2)を上瞼の中央に塗り、指先で目尻側に広げる。目尻の終着点にはグレー(1)を、チップの形を利用して横長の楕円形に入れる。隣り合った位置にこのグレーを入れることで、オレンジが際立つ。眉は、自前の眉毛よりもワントーン深い色の眉マスカラ(6)で印象を強めることで、アイメイクの女っぽさを少しだけ否定し、全体のバランスを。リップメイクは、彼女持ち前のヘルシー感を失わないようにしつつ、明るすぎないトーンのグロス(3)を塗る。ネイルは落ち着きがありつつポップに見えるように、カーキ(4)を爪の中央にまあるく塗り、薬指のみに深いグリーン(5)を重ねて完成。

6 5 4 3 2 1

1: 純度の高いピグメントを濃縮。オンブル プルミエール ブードゥル #38 ¥3,900(シャネル)
2: 長時間にわたって、発色と潤いをキープ。マットマルティプル #1581 ¥4,800＊限定発売中(NARS JAPAN)
3: シックな光感。キッカ メスメリック ウェットリップオイル #05 ¥3,200＊8/16発売(カネボウ化粧品)
4: 開放的なムードのグリーングレー。ヴェルニ ロング トゥニュ #576 ¥3,200＊8/25限定発売(シャネル)
5: 深いラメグリーン。ディオール ヴェルニ #917 ¥3,000＊限定発売中(パルファン・クリスチャン・ディオール)
6: 色づきと毛流れのセットを一度で叶えるコームタイプ。ブロー:コーム＃モスブラック ¥3,300(シュウ ウエムラ)

UDA

メイクアップアーティスト。雑誌・広告のファッション&ビューティや著名人を手がけるほか、舞台のメイクプランニングも。本企画ではディレクションから担当。“美人化”のアーカイブも見られるHPがオープン！ uda-kesho.com/top

美人化モデル募集中 ページに登場してくれるモデルさんを募集しています！ お名前・住所・電話番号・年齢・職業・一言メッセージと、すっぴん&お気に入りの服を着たスナップ(上半身)各1枚をメールでお送りください。ginza.bijinka@gmail.com